



瀬戸市歴史文化基本構想を策定します

問 文化課 ☎84・1093

本市では、市内の歴史や文化財に関わる地域資源を保存・活用し、次世代へ継承していくために、「歴史文化基本構想」の策定を進めています。

歴史文化基本構想ってなに？

瀬戸市の歴史・伝統に培われた地域資源を活かし、文化・観光・産業・まちづくりなどの活性化や「瀬戸のまち全体のブランド化」につなげることを目的とした基本構想です。

基本構想では、それぞれの文化遺産や観光資源などをつなぐ物語を設定し、その物語を発信し、観光・産業などと連動し、一体的にまちづくりを進めていきます。

このまちの物語をつくり、知る

地域資源を大切にし、後世に残していくためには、地域の特色を活かした物語をつくり、多くの方にわかりやすく理解していただくことも大切です。また、この物語を継承していくことで、まちへの誇りと愛着につながります。

●主な内容と展開

1 歴史文化の特性の把握	文化財をはじめ、それを支える自然や景観、技術、祭などさまざまな地域資源の魅力を把握します。
2 歴史文化物語の設定	歴史文化を魅力的な形で分かりやすく伝えていくために、それらをつなぐ物語をつくります。
3 歴史文化の保存・活用	歴史文化の魅力を保存・活用するための方針や方法、実施体制などをまとめます。
4 構想実現への推進体制確立	構想の実現に向けた推進体制を確立します。

歴史と文化を活かした地域づくり

(歴史文化の継承、まちのブランド化、賑わいの創出、郷土愛の醸成など)

歴史文化基本構想策定委員会

基本構想は、地域の代表者の方や大学教授などの学識経験者で組織された策定委員会において検討を進めています。

瀬戸市には陶磁器生産に関する豊かな歴史文化資源があります。これら市内に点在する資源を保存・活用し、次世代へ継承していく必要があります。産業・教育・観光などを含め、これからのまちづくりにつながる魅力ある構想を、市民の皆さんの意見をお聞きしながら策定していきたいと思ひます。

委員長 藤澤良祐さん (愛知学院大学教授)

